



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月3日

上場会社名 日油株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4403 URL <http://www.nof.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮道 建臣
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 森 知明 TEL 03-5424-6600
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	120,800	△8.9	17,922	△8.1	19,399	△8.4	16,099	8.1
2020年3月期第3四半期	132,608	△3.5	19,508	△3.3	21,185	△2.4	14,897	△4.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 22,110百万円 (59.8%) 2020年3月期第3四半期 13,838百万円 (0.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	193.71	—
2020年3月期第3四半期	177.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	256,256	195,619	76.1
2020年3月期	235,248	178,716	75.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 194,901百万円 2020年3月期 177,935百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	39.00	—	39.00	78.00
2021年3月期	—	39.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	39.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	169,000	△6.6	24,000	△10.7	26,000	△9.8	21,400	1.2	257.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	84,841,376株	2020年3月期	84,841,376株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,733,063株	2020年3月期	1,732,123株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	83,109,116株	2020年3月期3Q	84,142,624株

(注) 当社は、前連結会計年度より「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年12月31日までの9ヵ月間)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が拡大し、外出自粛などによる個人消費の減少や世界経済の下振れによる輸出の減少など、景気悪化が顕著となりましたが、第2四半期からは生産や輸出などで持ち直しの動きがみられました。海外経済におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大にともなう各種制限により経済活動が減速しました。いち早く経済活動を再開した中国では景気が緩やかに回復しているものの、多くの国・地域では、新型コロナウイルス感染症の再拡大による景気悪化が懸念され、経済の先行きは不透明で厳しい状況にありました。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内におけるインバウンド需要の消失や自動車生産の落ち込みなどによる世界的な景気減速の影響を受けて、極めて厳しい状況にありました。

このような事業環境下、当社グループは当事業年度を初年度とする3ヵ年計画「2022中期経営計画」において「挑戦と協創」を基本方針として掲げ、課題である「成長市場への事業拡大」「新製品・新技術開発の加速」「社内外との連携強化」「生産性の向上」「CSR活動の推進」に取り組み、高機能・高付加価値製品による新市場開拓と拡販ならびに生産コストの低減に努め、持続的成長に向けた経営努力を積み重ねてまいりました。

これらの結果、厳しい事業環境により、当第3四半期連結累計期間の売上高は、120,800百万円と前年同期比8.9%の減収となりました。営業利益は、17,922百万円と前年同期比8.1%の減益、経常利益は、19,399百万円と前年同期比8.4%の減益となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益などにより、16,099百万円となり、前年同期比8.1%の増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①機能化学品事業

脂肪酸誘導体は、環境エネルギー関連の需要が低調に推移し、売上高は減少しました。

界面活性剤は、トイレタリー関連の需要が低調に推移し、売上高は減少しました。

エチレンオキシド・プロピレンオキシド誘導体は、塗料向けや合成樹脂・樹脂加工向けの需要が低調に推移し、売上高は減少しました。

有機過酸化物は、国内およびアジアでの需要が低調に推移し、売上高は減少しました。

特殊防錆処理剤は、国内外の自動車関連の需要が低調に推移し、売上高は減少しました。

これらの結果、機能化学品事業の売上高は、78,932百万円(前年同期比12.6%減)、営業利益は、10,920百万円(前年同期比24.5%減)となりました。

②ライフサイエンス事業

食用加工油脂は、製菓・製パン用機能性油脂の需要が低調に推移し、売上高は減少しました。

機能食品関連製品は、売上高は減少しました。

生体適合性素材は、MPC(2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン)関連製品の需要が好調に推移し、売上高は増加しました。

DDS(ドラッグ・デリバリー・システム:薬物送達システム)医薬用製剤原料は、欧米への出荷が好調で、売上高は増加しました。

これらの結果、ライフサイエンス事業の売上高は、23,133百万円(前年同期比2.2%増)、営業利益は、7,411百万円(前年同期比29.4%増)となりました。

③化薬事業

産業用爆薬類は、売上高は前年同期並みとなりました。

宇宙関連製品は、ロケット向け製品の出荷が減り、売上高は減少しました。

防衛関連製品は、売上高は増加しました。

機能製品は、売上高は減少しました。

これらの結果、化薬事業の売上高は、17,618百万円(前年同期比5.1%減)、営業利益は、678百万円(前年同期比925.5%増)となりました。

④その他の事業

その他の事業は、運送事業および不動産事業から構成されております。その売上高は、1,115百万円(前年同期比1.2%増)、営業利益は、172百万円(前年同期比0.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べ21,008百万円増加し、256,256百万円となりました。

資産の増減の主な内容は、現金及び預金の増加8,172百万円、棚卸資産の増加2,969百万円、売上債権の増加1,191百万円等であります。

負債は、前期末に比べ4,105百万円増加し、60,637百万円となりました。

負債の増減の主な内容は、買入債務の増加812百万円、有利子負債の減少49百万円、法人税等の納付による未払法人税等の減少811百万円、繰延税金負債の増加3,035百万円等であります。

純資産は、前期末に比べ16,903百万円増加し、195,619百万円となりました。

純資産の増減の主な内容は、親会社株主に帰属する四半期純利益16,099百万円、剰余金の配当による減少6,486百万円、その他有価証券評価差額金の増加6,263百万円、退職給付に係る調整累計額の増加158百万円等でありま

す。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2020年11月5日に公表しました2021年3月期の連結業績予想を修正しております。具体的な内容については、本日(2月3日)公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,849	60,022
受取手形及び売掛金	38,625	39,472
電子記録債権	2,467	2,811
商品及び製品	21,261	21,602
仕掛品	3,299	5,378
原材料及び貯蔵品	10,353	10,903
その他	2,446	2,582
貸倒引当金	△188	△188
流動資産合計	130,115	142,584
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,888	23,717
土地	20,332	20,324
その他(純額)	15,036	17,158
有形固定資産合計	59,258	61,200
無形固定資産		
その他	1,050	919
無形固定資産合計	1,050	919
投資その他の資産		
投資有価証券	40,868	47,488
退職給付に係る資産	1,153	1,214
その他	2,861	2,906
貸倒引当金	△59	△56
投資その他の資産合計	44,823	51,552
固定資産合計	105,132	113,672
資産合計	235,248	256,256
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,998	15,500
電子記録債務	852	1,163
短期借入金	1,353	1,408
1年内返済予定の長期借入金	0	5,000
未払法人税等	4,067	3,255
賞与引当金	3,227	1,715
その他	11,615	13,613
流動負債合計	36,114	41,656
固定負債		
長期借入金	8,059	3,056
退職給付に係る負債	4,841	4,861
その他	7,516	11,063
固定負債合計	20,417	18,980
負債合計	56,532	60,637

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,742	17,742
資本剰余金	15,115	15,115
利益剰余金	136,643	147,544
自己株式	△6,333	△6,338
株主資本合計	163,167	174,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,933	23,196
為替換算調整勘定	△883	△1,236
退職給付に係る調整累計額	△1,280	△1,121
その他の包括利益累計額合計	14,768	20,838
非支配株主持分	780	717
純資産合計	178,716	195,619
負債純資産合計	235,248	256,256

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	132,608	120,800
売上原価	89,283	80,288
売上総利益	43,325	40,512
販売費及び一般管理費	23,816	22,589
営業利益	19,508	17,922
営業外収益		
受取利息	86	62
受取配当金	1,506	1,056
その他	610	806
営業外収益合計	2,202	1,925
営業外費用		
支払利息	47	42
為替差損	134	123
不動産賃貸費用	58	58
固定資産撤去費用	120	106
その他	164	117
営業外費用合計	525	448
経常利益	21,185	19,399
特別利益		
固定資産売却益	57	11
投資有価証券売却益	16	4,153
受取保険金	※1 178	—
特別利益合計	252	4,164
特別損失		
固定資産売却損	0	5
災害による損失	※2 159	—
固定資産除却損	23	16
投資有価証券評価損	—	14
投資有価証券売却損	—	32
その他	3	—
特別損失合計	186	68
税金等調整前四半期純利益	21,251	23,495
法人税等	6,343	7,394
四半期純利益	14,907	16,100
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,897	16,099

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	14,907	16,100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	6,267
為替換算調整勘定	△1,145	△416
退職給付に係る調整額	51	159
その他の包括利益合計	△1,069	6,009
四半期包括利益	13,838	22,110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,833	22,169
非支配株主に係る四半期包括利益	5	△58

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法の範囲の変更）

従来、非連結子会社でありました恩欧富塗料商貿(上海)有限公司は、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、主として当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した金額を計上しております。

（追加情報）

該当事項はありません。

（四半期連結損益計算書関係）

※1 受取保険金

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

受取保険金は、2018年に発生した台風による被害に係る保険金であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。

※2 災害による損失

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

災害による損失は、2019年に発生した台風により被災した設備等の復旧費用158百万円、棚卸資産の損害0百万円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	機能化学 品事業	ライフサ イエンス 事業	化薬事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	90,308	22,635	18,562	131,506	1,102	132,608	—	132,608
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	808	1,806	11	2,626	6,221	8,848	△8,848	—
計	91,117	24,441	18,574	134,133	7,323	141,457	△8,848	132,608
セグメント利益	14,473	5,727	66	20,267	171	20,439	△930	19,508

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送、不動産販売および管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△930百万円には、セグメント間取引消去188百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,119百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	機能化学 品事業	ライフサ イエンス 事業	化薬事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	78,932	23,133	17,618	119,685	1,115	120,800	—	120,800
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	564	2,971	6	3,542	5,851	9,394	△9,394	—
計	79,497	26,105	17,625	123,227	6,967	130,195	△9,394	120,800
セグメント利益	10,920	7,411	678	19,011	172	19,183	△1,260	17,922

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送、不動産販売および管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,260百万円には、セグメント間取引消去△52百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,208百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

自己株式の取得

当社は、2021年2月3日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、下記のとおり自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

株主還元の充実および資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能にするため。

2. 取得に係る取締役会の決議内容

(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得し得る株式の総数	900,000株(上限)
(3) 株式の取得価額の総額	4,000,000,000円(上限)
(4) 取得期間	2021年2月4日より2021年6月30日まで
(5) 取得方法	東京証券取引所における市場買付け